

令和7年度ー2025年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号：66ー0200

施設名：澁江保育園

所在地：足立区竹の塚2-9-3

法人名：個人立

クラス：1歳児ーももぐみ

①活動のテーマ…自然

〈テーマの設定理由〉

本園はイチヨウの木をはじめ、桜、百日紅、びわ、ハナミズキ、キンモクセイ等の木々があり、紫陽花や水仙、彼岸花、バラ等の花々が咲くので、四季を通して外遊びでそれらに触れる機会があり、こうした姿を受け、自然との関わりを通して探索活動を楽しんでほしいため。

②活動スケジュール

4月…園庭のいろいろな自然に触れる

5月・6月…紫陽花などで園庭に咲いた花に触れる

7月・8月…ダンゴムシやブドウに触れたり、セミとりをする

9月…果物狩りごっこ《製作も行う》

10月・11月…落ち葉拾いや、お散歩でのどんぐり拾い

12月…花壇のコニファーにオーナメントをつける《製作も行う》

1月・2月…水仙やヒヤシンスに水やりをする

3月…お花見散歩で近所の河津桜を見に行く

③活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カラーポリ袋・スズランテープ・指えのぐ・折り紙・色画用紙・マスキングテープ・のり・ipad等

④探索活動の実践

〈活動の内容〉

果物狩りごっこの時は、年長児と一緒にりんご作りをし、丸めた新聞紙にのりをつけた折り紙をはった。また、果物を入れるカゴ作りでは、マスキングテープで模様をつけた。完成したりんごを使って果物狩りごっこを楽しみ、遊びの中で自然物への親しみを深めた。コニファーに飾るオーナメント製作では、指えのぐでまつぼっくりに模様をつけた。カラーポリ袋でボール、スズランテープで星を作り、飾る楽しさを味わったりする中で季節や植物への関心を育んだ。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

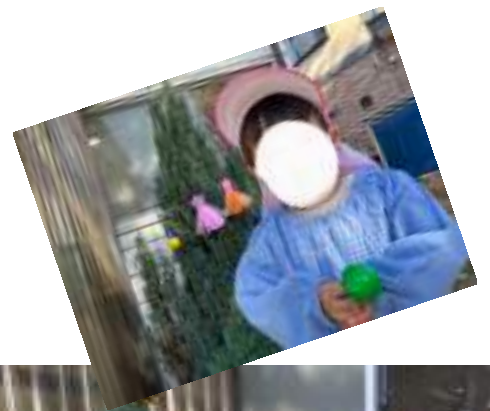
りんご作りでは年長児にサポートしてもらい、仲良く折り紙を貼っていた。保育者は「上手に貼れたね」などと声かけをしながら、年長児との関わりを仲立ちした。オーナメント作りでは、ipadでもみの木のクリスマスツリーのオーナメントで飾られている様子を子どもたちにみせ、ある程度イメージを持たせてから始めた。また、「チクチクするね」「いいにおいだね」など五感に働きかける声かけを行い、子どもたちが自分で飾る経験ができるようやり方を示しながら見守った。

⑤振り返り

〈振り返りによって得た気づき〉

一年を通して園や園外の自然に触れ、子どもたちの興味や関心が広がった。また、ジョウロで草花水やりをするのも好きで、よく行っていた。指さしや言葉で伝えようとしていることに保育者が「〇〇見つけたの?」「きれいに咲いたね」等言葉を添えて返してあげることで子どもの興味は広がるので今後も子どもの発見や感動に共感し丁寧に関わっていきたい。

=活動の様子がわかる写真=



令和7年度—2025年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号：66—0200

施設名：湊江保育園

所在地：足立区竹の塚2-9-3

法人名：個人立

クラス：2歳児—たんぽぽぐみ

①活動のテーマ…自然

〈テーマの設定理由〉2歳児は、身近な環境への関心が高まり、実際に触れる、試すという体験をしていくための自然物に触れながら、感触や形、変化に気づく経験を通して「わくわくする気持ち」を育てていきたい、とテーマを設定した。

②活動スケジュール

4月…園庭のいろいろな自然に触れる

5月・6月…紫陽花など季節の植物に触れる

7月・8月…ダンゴ虫探しやセミ、園庭のブドウの観察をする

9月…果物狩りごっこの製作

10月・11月…落ち葉拾いや、公園でどんぐり拾い

12月…花壇のコニファーをツリーに見立ててオーナメントを作り飾る

1月・2月…水仙やヒヤシンスに水やりをする

3月…お花見散歩で近所の桜をみにいく

③活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カラーポリ袋・スズランテープ・指えのぐ・折り紙・色画用紙・マスキングテープ・のり・
ipad等

④探索活動の実践

〈活動の内容〉

・新聞紙を丸めたものにのりを使って赤い折り紙を貼り、りんごを製作した。完成したりんごは保育室の壁に吊るし、後日子どもたちが自分たちで収穫する遊びにつなげた。

・スズランテープを指で裂き、細長くなったものを束ねてオーナメントを作った。完成したオーナメントは、園庭の木を「もみの木」に見立て、葉や枝に自分たちで飾り付けをした。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

・子どもが素材に興味を持てるよう、折り紙やのり等はすぐに取りれる環境を整えた。りんごを吊るす高さも手が届くように調整し、「自分で収穫できる」体験につながるよう配慮した。

・オーナメント製作前に、オーナメントはどうゆうものか、子どもたちにわかりやすく説明するためipadで見せた。

・スズランテープを裂く時の感触を楽しむ姿が見られた。飾り付けでは「ここ？」等と場所を選びながら自分で枝にかけようとする姿が見られ、自然物と関わる楽しさを感じている様子だった。

⑤振り返り

〈振り返りによって得た気づき〉

- ・作る活動だけで終わらず、その後の遊び（収穫）につなげたことで子どもたちはくり返し関心を持って関わることができた。
- ・自然の中で表現活動を行うことで、子どもたちはより意欲的に参加し、その後も楽しそうに木を見に行く姿が見られた。
- ・今後は、季節ごとの自然と組み合わせた活動に広げ、子どもの気づきや探究心をさらに育てていきたい。

=活動の様子がわかる写真=



令和7年度－2025年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号：66－0200

施設名：湊江保育園

所在地：足立区竹の塚2-9-3

法人名：個人立

クラス：3歳児－はなぐみ

①活動のテーマ…自然

〈テーマの設定理由〉

湊江保育園には園庭があり、区指定の樹木であるイチヨウ、桜、ぶどう、びわ、さるすべりなどがあり、自然の豊かさを四季を通して感じ、果実などの実を観察をすることで食育にもつなげたかった。

②活動スケジュール

外遊びの時間等を利用して園庭の草木を観察。季節や旬の果物などを紹介し、図鑑などでも調べる。観察、調べたものを折り紙や絵の具の色ぬりを通して再現し、飾って鑑賞することで理解を深められるようにする。びわ－6月 おいもほり－11月など

③活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カラーポリ袋・スズランテープ・指えのぐ・折り紙・色画用紙・マスキングテープ・のり・ipad等

あえて設定するのではなく、外で遊んだ時などに「びわの実がなっているね」と観察したり、芋ほりごっこの行事を機に製作を行った。また、ipadを使って子どもたちの発見を撮影し、調べた。

④探索活動の実践

〈活動の内容〉

- ・園庭の植物、果実を図鑑やipadを使い観察。
- ・旬の果実や季節にちなんだ絵本を見たり、図鑑で調べる。生長や育ち方なども知る。
- ・話し合っって折り紙や色ぬりなど何の素材で作るかを決め、実際に製作し再現する。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

びわの実を見て重なるようにたくさんなっているのを見て「家族みたいだね」と喜んでた。緑色からオレンジ色に変化していく様子を不思議そうに見ていたが「オレンジ色になったから甘くなったんだよね」と理解していた。

⑤振り返り

〈振り返りによって得た気づき〉

びわの観察と製作を機に身近な植物、季節、旬などに関心を持つようになった。普段はなかなか見ることが少ない図鑑をよく見るようになり、子どもたちの自然への興味、もっと自然について知りたいという意欲へとつながったように思う。

=活動の様子がわかる写真=



令和7年度—2025年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号：66—0200

施設名：澁江保育園

所在地：足立区竹の塚2-9-3

法人名：個人立

クラス：4歳児—ほしぐみ

①活動のテーマ…自然

〈テーマの設定理由〉

身近な自然に触れる中で、季節の変化や自然物の特徴（色・形など）に気づき、興味、関心を深めることをねらいとした。また、自然体験で得た気づきや発見をあそびや製作に取り入れ表現する楽しさを味わい主体的に活動に取り組む力を育てたい。

②活動スケジュール

○春・秋…散歩を通して春探しカード、秋探しカードを活用し、自然物や季節の変化を見つける活動

○戸外に出て影あそびを行い光や影の変化に親しむ

○マスキングテープを用いた表現活動

○果物狩りごっこを取り入れた製作活動の実施

③活動のために準備した素材や道具、環境の設定

お花紙・ボンド・ipad・スズランテープ・折り紙・色画用紙・マスキングテープ・ポリ袋等

④探索活動の実践

〈活動の内容〉

○春や秋の自然に親しみ興味、関心を深めることをねらいとして「季節のカード」を用いた自然探しを行った。興味を持ったこと、疑問に思ったことをipadを使用し調べ、共有していった。

○園庭の自然をテーマにマスキングテープを使う表現活動では、色や形を工夫しながら表現する。

○影あそびでは太陽の光によって生まれる影に目を向け形や動きの変化に気づきあそぶ。

○果物狩りごっこでは、見立てや友だちとのやりとりを取り入れあそびを発展させていた。ipadで果物をよく観察し特徴をとらえながら製作を進める。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

○子どもたちはカードを見ながら同じものを見つけたい！という意欲をもち、主体的に自然探しに取り組む姿がみられた。見つけた草花や虫をipadで調べ、友だちと共有したり関わりを楽しんでいた。

○影あそびでは、動きに合わせて変化する様子に気づきおもしろさを感じていた。

○果物狩りでは、作りながら言葉のやりとりを楽しんだりあそびを広げていく姿があった。

⑤振り返り

〈振り返りによって得た気づき〉

散歩や影あそびを通して得た気づきが製作活動やマスキングテープの表現へとつながり、自然と遊びが結びつく姿がみられた。

子どもたちは自らの経験をもとに自然の様子を再現することを楽しんでいった。

今後も自然体験の気づきや発見を表現活動へとつなげる取り組みをしていきたい。

=活動の様子がわかる写真=



令和7年度—2025年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号：66—0200

施設名：湊江保育園

所在地：足立区竹の塚2-9-3

法人名：個人立

クラス：5歳児—つきぐみ

①活動のテーマ…自然

〈テーマの設定理由〉

本園の園庭には自然が充実し、保存木としてイチョウがあり、子どもたちは落ち葉を使い遊びを楽しんでいる。花だんの植物なども色とりどり充実していて、子どもたちの関心が向きやすく、探求心を持っていたため。

②活動スケジュール

4月：園庭・近隣の自然探し

8月：マスキングテープで園庭を描こう

9月：果物狩りごっこ

12月：身近な自然を調べ作ってみよう

③活動のために準備した素材や道具、環境の設定

季節の自然カード・マスキングテープ・シート・ipad・お花紙・のり・ハサミ・画用紙・ダンボール・絵の具・透明コートフィルム・油性マジック等

④探索活動の実践

〈活動の内容〉

自然を見つけよう！ビンゴカードを作り、園庭や散歩先で自然探しを行い季節ごとの変化に気づく姿がみられた。子どもたちの気づきに共感をし、タブレットを使用して皆で調べた。

マスキングテープを使い、園庭の自然を表現したり、色画用紙やお花紙を使ってぶどう、梨を作り、果物狩り体験も行った。

イチョウの木作りでは、友だちと創意工夫して製作を楽しんだ。落ち葉アートや銀杏の観察なども興味を持って参加していた。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

○自然とは何かを子どもたちに問いかけ、園庭の自然について答え、探索する。

○自然物をタブレットや図鑑で調べたり、観察する。

○実際に作ってみる。

○子どもの姿

「黄色の葉っぱだけど、緑のところもまだあるね！」

「同じ葉っぱでもいろいろな形があるよ」

○子どもたちは自然に関心を持ち、気づいたことをすぐに保育者に伝えにきたり友だちと共有していた。

⑤振り返り

〈振り返りによって得た気づき〉

年長児は、活動に異年齢児も関わられるよう、自分たちでできる内容を考え、一緒に取り組み楽しんでいた。活動を通して子どもたちは自然に親しみながら、気づいたことを言葉にしたり友だちと共有したりする姿がみられるようになった。今後も子どもたちの「なぜ?」「やってみたい」気持ちを大切にしながら活動を広げていきたい。

=活動の様子がわかる写真=

